

入居企業紹介

その71

SIC に新しく入居された企業をご紹介します。

SIC-2 407~8

テクノロジーフロンティア株式会社



【事業紹介】

大学、企業などの基礎研究開発成果を中心とした「産学官保有シーズ技術の発掘事業」、プロセスイノベーションを主とする「新技術ビジネスマッチング事業」、技術課題に対応した支援サービスをする「技術ソリューション支援事業」の3事業で企業の技術支援をする。

【事業で実現したいことは？】

「先端科学研究と現場技術の融合化」。先端科学技術と現場技術が遊離しているため、現場では、時間がなく差し迫った技術解決にとらわれ、根本的な原因の究明をせずに小手先の技術開発、改良、改善になっている。

そこで、必要なことは、現場で発生する問題に本質的な解決ができる真の基礎技術力の育成であり、企業の現場技術者に緊急対応力、基礎技術力、技術コアの育成をしたいと思っている。

【これからの夢または目標は？】

これからの事業活動で、企業自身が

「本物の技術を持つこと」、
「技術をつけること」、
「技術人材を育てること」

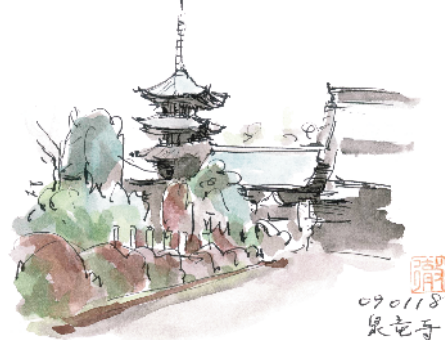
を支援し、中小企業の基礎技術力の向上で日本再生を目指したいと話す。

「知識と技術は、人についている。その知識と技術は、文書などの形式的なもので伝えることはできない。共に技術開発をすることで伝わり磨かれるものである。本当の技術継承の流れをつくりたい。」と話す大山氏の温厚な口調と澄んだ眼に相模原の新たな明日を見た。

テクノロジーフロンティア株式会社

SIC-2 407・408号室

TEL 042-770-9607 FAX 042-770-9608



上鶴間・竜泉寺三重塔

【代表プロフィール】

テクノロジーフロンティア株式会社

取締役 大山 昌憲(おおよま まさのり)さん

(国立東京工業高等専門学校名誉教授、工学博士)

中国長春に生まれ、3歳で日本に帰国、横浜、板橋で育ち、現在は、八王子に在住。

小さいころの夢は、航空機のパイロット。

趣味は、ドライブ。若いころは(昭和40年代)、愛車のコロナで33時間かけて山口まで行くほどのドライブ好き。

いずれセスナ機の操縦にもチャレンジしたいとのこと。

1943年2月生まれの67歳。

【起業に参画しようと思ったきっかけは？】

大学で電気、電子工学を専攻し、半導体工学を研究。さらに化学分野の知見を身につけるために材料工学系で教官助手を務める。そこで異種の学問の境界に位置する領域(学際領域)の重要性に気づき、学際領域の研究こそが科学への深い理解を育てると考えるようになる。

1973年から国立東京工業高等専門学校電気工学科にて教鞭をとる。「技術の進歩によって異種の学問の境界領域(学際領域)の需要が高まっている。しかし、分野間の壁を越えようとするものは誰もいないのが現状であり、ここはまさに未開の地として多くの研究題材が眠っている。」「若い技術者に学際領域の重要性を伝え、ともに研究することで技術者育成がなされる。この技術者育成こそが真の技術継承である。」との信念から、学生はもちろん、地域の企業から相談に来た技術者に対しても技術継承をおこない、2006年まで教員の立場から真の基礎力を有する人材の輩出をおこなってきた。この経験を活かし、代表取締役伊山忠利、取締役島村力の事業理念に共鳴し、地域企業へのさらなる貢献のため起業に参画した。



入居企業トピックス

●今月の掲載記事紹介

7月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1 と2に掲載していますので、どうぞご覧ください。

- 7月10日(土) **サンマルコ株式会社**
相模経済新聞 さがみのフロンティア(人と企業群)に掲載されました。
- 7月13日(火) **アイフォーコム株式会社**
神奈川新聞 授業中のネット制限装置が紹介されました。
- 7月19日(月) **@あるん**
神奈川新聞 ビジネスウォッチに掲載されました。
- 7月23日(金) **株式会社 Ronk ジャパン**
日経産業新聞 双方向通信が可能な無先端末発売が掲載されました。
- 7月27日(火) **株式会社 共立**
日刊工業新聞 豆腐を製造する際に出るおからを粉末化する装置の完成と年内に発売されることが掲載されました。
- 7月28日(水) **サイエナジー株式会社**
日本経済新聞 X線食品のパッケージの不良を発見する装置の新開発が掲載されました。

●tvk『相模原市テレビ広報番組』のご案内

テレビ神奈川特別番組の収録が7月26日(月)に行われ、相模原市が有する様々な魅力を向上させ、市内外にその魅力を発信していくことを目的に製作され、SICの入居企業では、(有)青山モータードライブテクノロジーと(株)共立へのインタビュー、そして、SICの中嶋社長による事業紹介が収録されました。さて、編集やいかに!?
放送は**8月22日(日)午前11時から30分**です。
皆さん、是非!ご覧ください。

●かながわ産業 Navi 大賞

株式会社 共立

(上野賢美社長)が大賞を受賞!!

(財)神奈川県経営者福祉振興財団が主催する2010受賞事業において、環境(エコ)部門では、エコフィード(食料品残渣飼料)システムが大賞を受賞しました。



入居企業の皆様へご案内 SIC に珈琲屋さん comes. くるまかふえ Sky Days

「ママにも公園に行く楽しみがほしい!」
という『あったらいいな〜』を実行中の子育てママがオーナーです。

今月のSICでの販売予定日:

8月 4日(水)、20(金)、27(金)
営業時間 11:00 ~ 16:00

パン・コーヒーともなくなり次第終了です。

只今、お試中! <http://skydays.net>



★ **恒例のバーベキュー**
(すごい夏祭り!) ...ライブもあるよ!
お待たせいたしました。今年も『SIC 夏祭り』開催します!
8月25日(水) 16:30~
SIC-2 駐車場にて 18:30まで
詳細は後日ご案内申し上げますので、どうぞ、お楽しみに!

2010年8月

【今月の経営スケジュール(3月期決算の会社参考)】

経理: 7月源泉税・地方税納付、給与計算・試算表作成

日	月	火	水	木	金	土
1 ジュニア アントレ2日目	2 会議室10月分 予約受付開始	3	4 ジュニア アントレ3日目	5	6 ジュニア アントレ4日目 6~8日 橋本七夕祭り	7
8 ★ ジュニアアントレ 5日目(販売日)	9 *SIC-1 エレベーター点検	10	11	12	13	14
15	16	17 SIC-2 窓ガラス清掃	18 子ども アントレ1日目	19	20 子ども アントレ2日目	21 子ども アントレ3日目
22 ★ 子どもアントレ 4日目(販売日)	23 ★ 第17回 南西フォーラム	24 SIC-2 害虫駆除	25 ★ SIC夏祭り	26	27 子ども アントレ3日目	28
29	30	31	1	2	3	4

* エレベーター点検 SIC-1 9:30~10:30の間はご利用になれません。お問い合わせは 生井(内線1116)まで

「経営理念があつてこそ」

今年も、「SIC経営塾」がはじまりました。第9回目だそうです。私は、塾長として、初めて参加させていただいています。講師である浜銀総合研究所の寺本先生のお話は、とても理解しやすく、「なるほど。その通り。そう考えるのか。・・・」というようなことで、あっという間に時間が過ぎて行ってしまいます。

講義のテーマといたしましては、自社の現状分析、存在意義、コアコンピタンス、戦略シナリオ・・・等、全10回のプログラムとなっています。多様な経営理論を学習し、ケーススタディを通じて、自社の経営を変革する力を要請するセミナーです。私は新米社長ですので、得るものばかりです。

ところで、私がSICの経営を引き継がせていただいて、一か月半が経ちました。山本専務や社員の皆さんから、SICが実施している事業や業務の内容について、一つひとつ説明を受けています。とても社会的な意味をもった事業に、たくさん関わっているように感じています。

SICの経営理念は、「総合的なインキュベーション活動を通じて、地域経済の発展に貢献するために、起業家、入居企業、そして地域企業が成長していくための支援体制をより充実させ、地域から頼られる会社を目指します。」です。まさに、「経営理念」実現のための事業を実行しています。

経営の神様と呼ばれている 松下幸之助さんは、「決断力があるか。先見性があるか。実行力があるか。徳はあるか。どれもがある程度は必要である。しかしいちばん大切なのは、確固たる経営理念を持っているかどうかということ、これに尽きる。」「経営者はほかから問われると問われざるに関わらず、この会社は何のために存在しているのか、そしてこの会社をどういう方向に進め、どのような姿にしていくのか

という企業の基本のあり方について、自らに問い、自らにこたえるものを持たなくてはならない。」

(「社長になる人にとってほしいこと」

2009.9. 松下幸之助[述] PHP総合研究所[編])

私は、SICの「経営理念」が、とても好きです。気に入っています。恐らく、SIC社員の全てが、この「経営理念」に惚れて、入社してきているのではないかと思います。

「創業の精神」を基盤に、「存在意義」を問い直しながら、マネージメントすること。このことが、今後、SICの経営をしていくなかで、大切にしなければならないものであると認識しています。

「経営理念」は、大切ですね・・・

「経営理念があつてこそ」です。

【追加報告】

7月9日～10日に、「東北IM連携協議会in石巻」へ参加してきました。宮城県の石巻市です。東北地域のIM(インキュベーション・マネージャー)が、年に一回集まり情報交換・意見交換を行う「場」だそうです。

ここでのワークショップで、我がSICの山本専務が、「さがみはら産業創造センター」の活動事例を、発表をするとのことでしたので、ついて行きました。

ここで感じたことですが、東北地域と比較して、「相模原市の事業を興す環境は、恵まれている。」と感じました。

小さくて見えないかもしれませんが、山本専務です。

石巻市での様子
撮影：中嶋



わたしの居場所

どんな人ですか? SIC スタッフ編

今月のスタッフ【SIC 燃料電池研究会担当 永井 直文】

今回も前回の続きで、小生の家系図を平安時代まで遡らせようと思いましたが、また別の機会にします。

さて、わたくしが出没するまたは居(お)る場所ですが、具体的には家庭が1(妻はいません)、仕事では8、趣味の場所は11の計20箇所程度と少ないです。

ではどこか、仕事では・・・

① 1号館314号室燃料電池研究会の部屋

(昨年8月よりメインオフィスです。)

研究会のテーマに関わる調査・企画・開発イメージなどの考案、公的資金申請準備や内緒(機密)の電話や打合せ、悪戯(いたずら)実験などを行っています。

② 1号館3階東側リフレッシュルーム及びベランダ

研究会の成果の有効性評価や将来のSICの屋上有効活用・緑化などの予備試験(メロン水耕栽培や人工土壌の簡易評価)を行っています。

これから冬に向けての構想ですが、水耕か人工土壌イチゴ栽培を計画しています。



③ 2号館1階事務室(昨年8月よりほとんど座ってません)

④ 2号館社員休憩室(お昼のお弁当用)

⑤ トイレ 数箇所

⑥ SICの指定喫煙コーナー(5箇所)

⑦ 職業能力開発総合大学校 電気システム工学科 清水研究室
燃料電池の評価や燃料の試験及び昨年度受託した経済産業省の『低炭素事業』の成果である、お国から預かっている太陽光や燃料電池、オゾン水設備の保守・点検・維持・管理を行っています。

⑧ 1号館屋上 ①、②の実行のために今年9月より頻繁に出没の予定。

一方趣味では

①～② 千葉と茨城の某草刈クラブ

③～⑤ 神奈川県の某釣船宿(最近ほとんど通ってません)

⑥～⑪ 某呑み屋

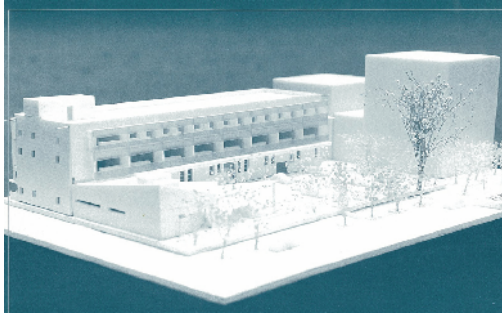
と、まあ、こんなところです。今後は企業様の『自分の居場所』を増やしたいと思いますが、何かご興味をもたれましたらお気軽にお声をかけてください。

(次回は、施設担当の生井が担当します。)

さがみはら産業創造センター（SIC）も入居していただいた皆様に支えられ11歳となりました。そこで、今回から数回に分けてSICの誕生に関わった人達を紹介しようと思います。

第1回は「産学共同研究開発支援施設に関する検討会」です。相模原市は地域産業の活性化のため大学・研究機関と産業界を結び拠点整備を計画していました。行政が考えたこの計画を産業界の視点で再検討したのが検討会です。この検討会での議論から新規創業に重点を置いたSICが誕生することになります。

検討会のメンバーは11名。市内の若手経営者と相模原市や商工会議所の若手スタッフ。その当時の名簿を見ると30代が7名、40代が4名。現在、SICの取締役を務めている権田さん、小侯さん、松岡さんもメンバーの一員でした。私も相模原市の若手職員として参加していました。また、事務方として検討会を支えていたのがSIC-1にいる稲垣さん、市役所を辞め自ら起業してしまった小侯さん。こうしてみるとこの検討会はSICの母体となった組織と言えます。



1998年4月28日に第1回の会合が相模原市産業会館の国際商談室の一角で開かれました。メンバーも働き盛りで忙しかったため11時30分集合、弁当を食べながら議論を始め13時30分解散といった具合です。その場での真剣勝負でした。施設建設に非常に懐疑的で「施設整備ではなくソフト支援を重視すべきだ」、「既存施設の改修で対応すべきだ」と主張するメンバーもいましたから議論は白熱しました。私は進行役でしたが、「施設整備は断念せざるを得ない」と考えたほどでした。学識経験者の話や東海大学や慶応大学の訪問も含め11回開催し、同年の12月に相模原市長に提言を提出しました。

提言のポイントは2つ。

- 1つが民間による経営。スピードや柔軟性が非常に重要であり自治体や財団ではなく新に会社を作って経営すべきである。
- 2つ目が低廉な施設づくり。賃料を低く抑えるためにも無駄を省いたローコストな施設とすべきである。

提言書を改めて読んでみましたがSICの基礎はここにあると再確認しました。今後もここで示された精神を活かしていかなければと思います。

【提言骨子】○施設整備のねらい

相模原市や周辺地域の持つ産業や研究機関の集積を活かし、新しい産業の創造、最先端技術の研究開発、基盤的な技術・技能の継承などを地域全体で推進する拠点づくりを進める。また、そうした技術や情報を世界に向けて発信する。

○機能

- ・企業のOBなどをコーディネータとして迎え、新規創業の立ち上げ期支援、産学連携の仲介、技術相談を行う。
- ・新規創業や共同研究を支援するため低廉なスペースを提供する。
- ・地域企業の経営層の意識啓発や技術者の育成を行う。

○運営

- ・民間の活力、人材、企業経営のノウハウが反映できる組織が運営すること。
- ・地域企業が参画できる組織とすること。

特に次世代を担う産業人の参加が望まれる。

- ・したがって、地域企業と行政による共同会社を設立し、事業実施を行うことが必要である。事業を行うにあたっては、採算性を重視すること。

○施設

- ・当初は必要最小限の建物とし、必要に応じ順次整備すること。
- ・機能を重視し、無駄を省いた低廉な施設とすること。
- ・貸しスペースの設備については電気、ガス、上下水、通信、空調など基本的な機能のみとし、それ以外の設備については後日入居者が設置すること。

【検討会のメンバー】

権田 源太郎：権田金属工業（株） 小侯 邦正：（株）昭和真空
松岡 康彦：湘南デザイン（株） 河本 悟：東邦電子（株）
小林 孝至：クニミ工業（株） 尾崎 一郎：尾崎ギア工業（株）
布施 昭愛：相模原商工会議所 林 晃：相模原市産業振興財団
山本 満／小侯 晃之／稲垣 英孝：相模原市

つづく

山本のめし屋レポート

今回のめし屋レポートはちょっと遠出してみました。

スタッフから美味くてボリューム一杯の食堂があると聞き、さっそく緑区長竹にある「愛津屋（あいづや）」に昼飯を食べに行ってきました。隣町の愛川から津久井に引っ越ししてお肉屋さん+食堂を開業したのが70年前だそうです。愛川と津久井で「愛津屋」という屋号に。

食堂の隣がお肉屋さんです。

お肉さんの食堂なので牛ステーキ、豚ステーキ、から揚げライス、あじフライライス、カツ丼、ハムフライライスと肉のオンパレード。我々3人もフライものの王道であるとんかつライス、メンチかつライス、串かつライス+ホルモン焼きに挑戦しました。

美味しくてボリューム満点。テーブル席2つとカウンター席7つの小さなお店です。食べ盛りの若手スタッフにお勧めのお店。是非一度どうぞ。

SICから津久井方面に向かい車で約25分です。

外観：お肉屋さんの経営だから美味しい！
(右)串カツ揚げライス ¥750



ホルモン焼ライス ¥750



メンチカツライス ¥650



■住所 相模原市緑区長竹 1169 国道412号戦沿いです ■電話 042-784-0475
■定休日 不定休（心配な方は、まず、お電話を） ■営業時間：お昼のみ 11:30~14:00

編集後記

皆さん、夏休みのスケジュールは万全でしょうか！？7月号で、8月号から紙面変更する由ご案内いたしました。柔軟に予定変更です。これからも、もっと入居企業さんやSICを知っていただきたいです。どうぞ、ご意見ご感想をお寄せ下さい。そして、8月は、子どもアントレの季節です。（既に、SICの季語となっています。）今年も相模大野ステーションスクエアで元気な声が聞けそうです！ 萩島